

「安心」と「つながり」のまちづくり拠点の実現に向けて

周南市庁舎建設 基本計画(素案)の概要

本年3月に策定した基本構想を
基に、導入機能や配置計画、建替計
画などの詳細な事項の検討を行い、
基本計画(素案)をまとめました。

新庁舎建設

■スケジュール

平成23年度	基本的方針
平成24年度	基本構想
平成25年度	基本計画
平成26年度	基本設計
平成27年度	実施設計
平成28年度	工事 引越し
平成29年度	解体工事・駐車場整備
平成30年度	

- **行政執務機能**
市民ロビー、市民利用会議室、休憩・談話スペース、ギャラリー・展示スペースなど
- **議会機能**
間仕切りのない大部屋執務室、フリーアクセスフロア(床下配線)、業務関連度を考慮した配置、ミーティングスペースなど
- **憩い・にぎわい機能**
オーブン(イベント)スペース、ポケットパーク・公園・遊歩道、レストラン、売店など
- **行政サービスを機能的・効率的に提供できる庁舎**
現在分散している本庁部局(消防本部を除く)を新庁舎に集約する。ただし、耐震性能があり新庁舎に近い位置にある徳山保健センターは当面活用する
- **環境配慮機能**
自然エネルギー・再生可能エネルギーの利用、水素活用設備、コンビナート電力活用、市内産材木の活用、屋根・外壁の高断熱化、高性能ガラスの採用、自然光・通風を利用した設備、日射を軽減する設備など
- **規模**
新庁舎の規模は、次の考え方の下に算定した約2万平方メートルとします。新庁舎は、市の遊休施設および民間施設の活用に努めます。これに要する費用は、94億円に含まれています。

事業費	建設後の負担	パブリック・コメント
94億円を見込んでいます。 ※仮庁舎は、市の遊休施設および民間施設の活用に努めます。これに要する費用は、94億円に含まれています。	合併特例債約60億円、庁舎建設資金約20億円、上下水道事業負担金約9億円、一般財源約5億円 ※上下水道事業負担金は、設計後に負担割合を確定し算出します。	周南市庁舎建設基本計画(素案)について、意見を募集します。 開覧期間 11月5日(火)～12月6日(金) 開覧場所 総務課、市役所本庁舎市民さん、各総合支所情報公開窓口、各支所ホームページ 意見の提出 12月6日(金)まで に、住所・氏名・電話番号・意見を、持参・郵送・ファックス・Eメールで、〒745-8605岐山通1-1総務課庁舎建設準備室 四〇八三四二二八二六六・chosha@city.shunan.lg.jp
● 議会機能 議会を執り行いやすいレイアウト、市民の親しみやすさに配慮した傍聴席、独立性と行政執務機能との連携に配慮した配置など	利子約10億円、合計約70億円となりますが、国から地方交付税として、償還額約70億円のうち、70パーセントの約49億円が交付されますので、市の実質負担額は約21億円となります。償還期間を20年とすると、1年当たり約1億円の負担となります。	提出された意見は、市の方と合わせて、市ホームページなどで公表し、意見提出者への個別回答は行いません。提出された意見を担当課で検討し、要約する場合もあります。なお、あらかじめ提出する意見の全文公表希望と記載の上、提出してくださいます。住所、氏名などの個人情報をついては、担当課で厳重に管理するとともに、公表しません。
● 出前トーク 職員が訪問して本市の考え方を説明し、意見交換を行う出前トークも、引き続き実施していますので、ぜひ活用してください。	職員が訪問して本市の考え方を説明し、意見交換を行う出前トークも、引き続き実施していますので、ぜひ活用してください。	

問合せ 総務課庁舎建設準備室
0833-42-8221

- **配置計画**
新庁舎は、次の条件を満たす配置として、設計の段階で具体化します。
 - 岐山通り沿道の景観に与える影響について、十分に配慮する)
 - 周辺の日照条件が、特に悪化することのないよう工夫する)
- **導入機能**
今年3月に策定した基本構想の中、「これからの方」として6つの理想像を定めました。その実現のために、新庁舎には次のような機能の導入をめざします。
 - 先行解体する範囲を北側(下記図参照)に限定し、その範囲内で新庁舎を配置すること(仮庁舎の規模をできるだけ小さくする)
- **窓口・相談機能**

